

埼玉県知事

大野 元裕 様

要 望 書

所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市

埼玉県西部地域（所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市）への

防災庁設置に係る国への要望について

《要 旨》

埼玉県南西部に所在する、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の5市は、東京都心から30～60 km圏内に位置し、同一の鉄道路線や幹線道路、隣接した市街地整備の推進等に伴い、市域を越えて広域で市民の日常生活が営まれている状況であり、こうした中、5市では「埼玉県西部地域まちづくり協議会」を設置し、埼玉県西部地域振興センターのご協力を賜りながら圏域における共通する各種課題等の解決に向けて連携、協力し、様々な取組を展開しているところです。

このたび、国が進めている防災庁の設置について、以下に掲げる理由により、当圏域が相応しい場所であると考え、国への要望活動に取り組むことと致しました。

当圏域に防災庁が設置されることは、埼玉県においても防災・減災体制の更なる強化に繋がり、県民の安全、安心な暮らしに大きく貢献すると考えており、知事におかれましては、5市における本取組にご賛同いただき、国への要望活動に対するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《理 由》

第一 “強固で安定した地盤”

当圏域は強固な地盤を有し、地震や風水害に強く、自然災害に対する高い安全性を誇ります。強靱な国土を守る防災庁の拠点として、この安定した地盤は不可欠です。

第二 “首都圏中央連絡道路で主要高速道路とのアクセスに優れている”

当圏域は首都圏中央連絡自動車道を利用して主要な高速道路（東名、中央、関越、東北、常磐）へのアクセスに優れ、首都圏や地方で災害が発生した場合においても地理的な利点を有しており、迅速な初動対応を可能とする高速交通網への良好なアクセスは、防災拠点として極めて重要です。

第三 “物資及び人員の輸送力に優れている”

狭山市と入間市には航空自衛隊入間基地が所在し、入間市には自衛隊の災害対処拠点が既に設置されています。C-2輸送機を有している輸送能力の高い入間基地との近接性は、大規模災害時の迅速な物資輸送や人員展開に大きく貢献します。

第四 “多様な防災関係機関との連携に優れている”

当圏域の周辺地域に所在する在日米軍横田基地や陸上自衛隊の各駐屯地、そして県内有数の規模である埼玉西部消防局とも円滑な連携が可能です。多様な防災関係機関との連携の容易さは、複合災害への対応力を高めます。

第五 “災害時の医療体制に優れている”

当圏域には、航空自衛隊入間病院、埼玉医科大学国際医療センター、石心会狭山病院、防衛医科大学校病院といった大規模医療機関が所在し、災害時の医療体制も万全です。

令和7年6月9日

埼玉県知事 大野 元裕 様

所沢市長

小野塚勝俊

飯能市長

新井重治

狭山市長

小谷野剛

入間市長

杉島理一郎

日高市長

谷ヶ崎照雄